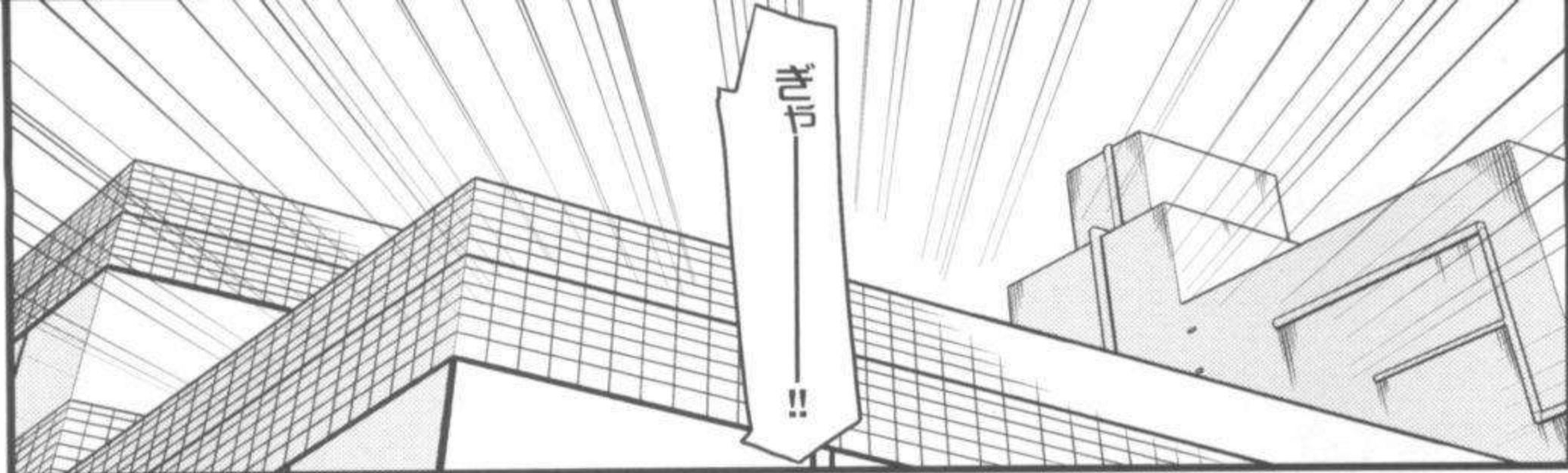




いただきますよ。

さくまさん。



いいいきなり  
何するんですかつ!

いくら何でも  
乱暴じゃないですかっ!?

びん

ベルゼブブさんっ!!

そんな細かいことは  
どうでもいいのです  
このクソタレ女が!



あなたの黄金水を……

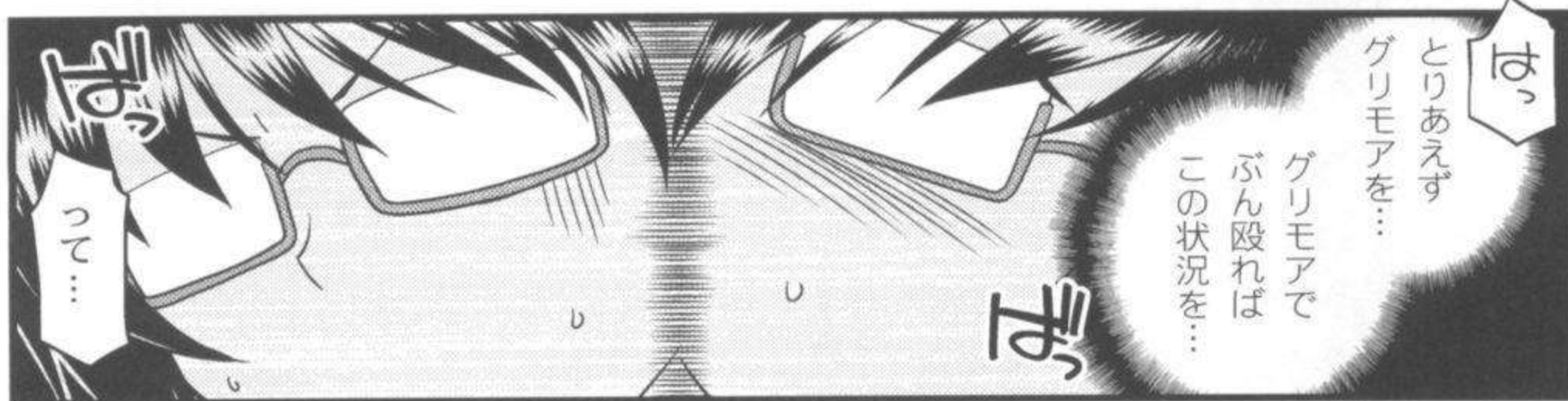
聖水を頂きたい……



ななななな  
何言ってるの  
この悪魔!?

はっ  
とりあえず  
グリモアを……

グリモアで  
ぶん殴れば  
この状況を……



って……

遠いなあ……!!

こう組み伏せられてたら  
無理——っ!手が  
届かない……!!



ぐだぐだと  
うるさいですね  
往生際の悪い

DR ZONE!

セキッ



抵抗すればするだけ  
私の愉悦が満たされる  
だけですよ？

いい反応です



アクタベ氏が不在のうちに  
手早く済ませてしましましょう



いいから黙って  
出すもの出せば  
いいのです

変に抵抗したら  
早く済むものも  
済みませんし



んッ  
な…何で私の胸を  
揉む必要が  
あるんですか？

愚問ですね  
放尿を促す  
ためですよ

体中の性感帯を  
刺激することによって  
余計な力を抜いて  
もらいます

無意識的に分泌されるも  
却率悪いですし



だから...  
これはず...

ん...

Vん

Vん

Vん

変な気分  
なにかと...  
おかし...

ん...



あ...あ...!

来る...!

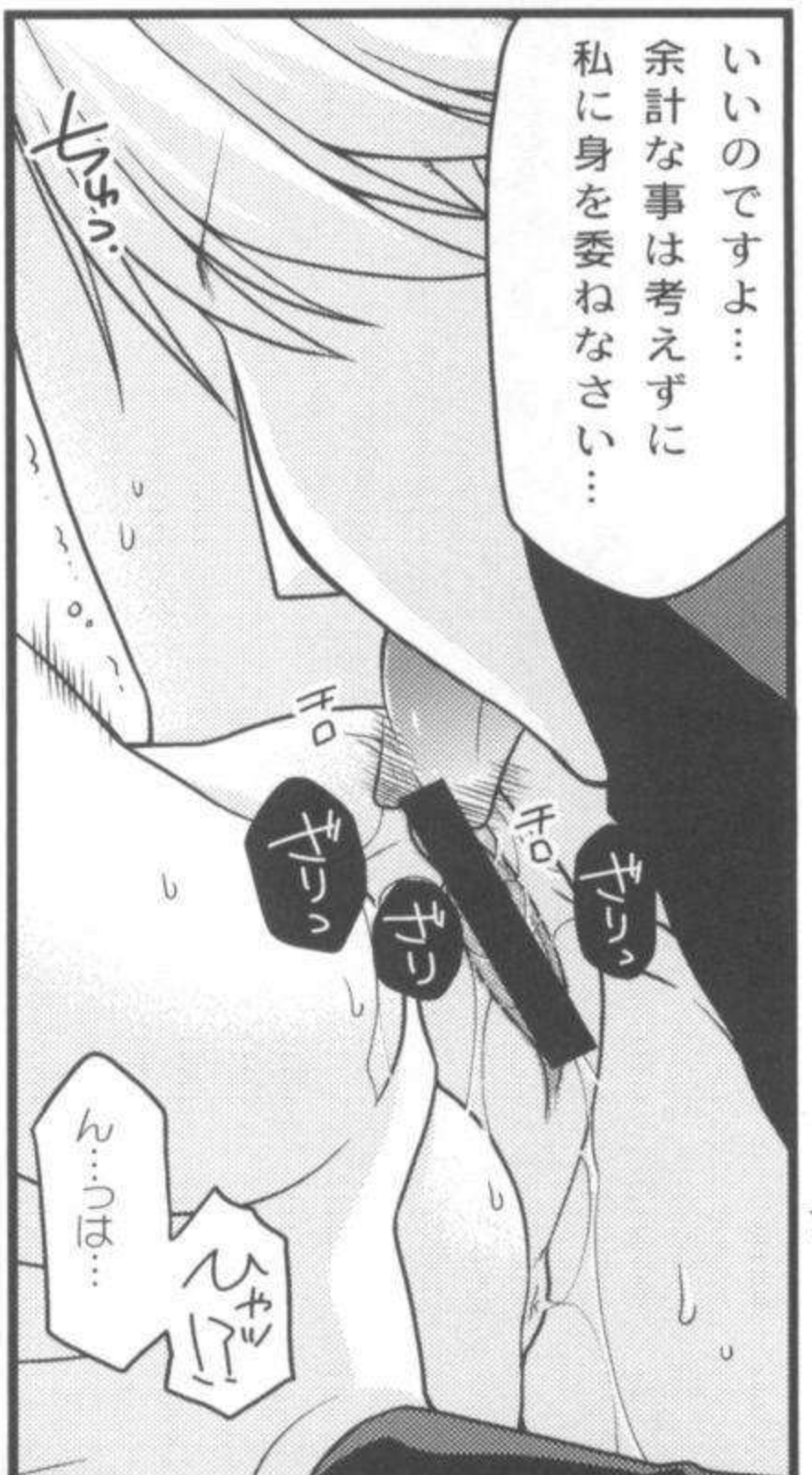


お...お...!

Vん

Vん

Vん



いいのですよ...  
余計な事は考えずに  
私に身を委ねなさい...

Vん

ん...お...!



あーあーあーあーあーあーあー

あーあーあーあーあーあーあー

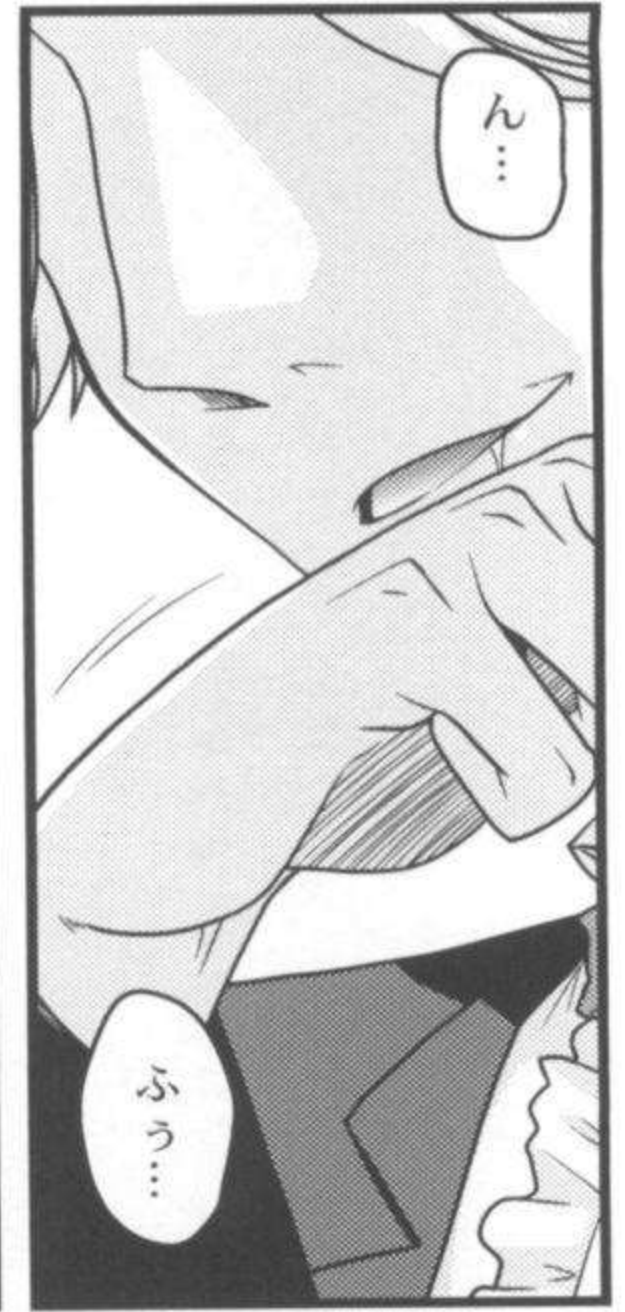


あ  
あ

あーあーあーあーあーあーあー



おお……



ん…

ふう…



大変美味でしたよ  
さくまさん

やはり私にはカレーも  
よいのですがこちらも  
欠かせないので



…すみ

ベルゼブブさん…



何か言いましたか？  
さくまさん？

ひいひい  
ベルゼブブさん…  
あれで…終わりに  
するだなんて…



私…体がむずむずして  
落ち着かないんですけど…

ほう？それで  
この私に  
どうしろと？





分かっているとも!

しかし偶然にもこれは  
この女を屈服させる  
最大のチャンス!

それを今利用しないで  
いつしようというのか!

グニャグニャ

はっきりと口に  
出して伝えて  
いただかないと  
分かりませんねえ?



…分かってて  
聞いてますよね?

はて? 何の  
ことやら



…ツツ…  
ですからっ…

ベルゼブブさんに…  
最後までして  
もらいたいんです…!

お…お願いします…



—ええ

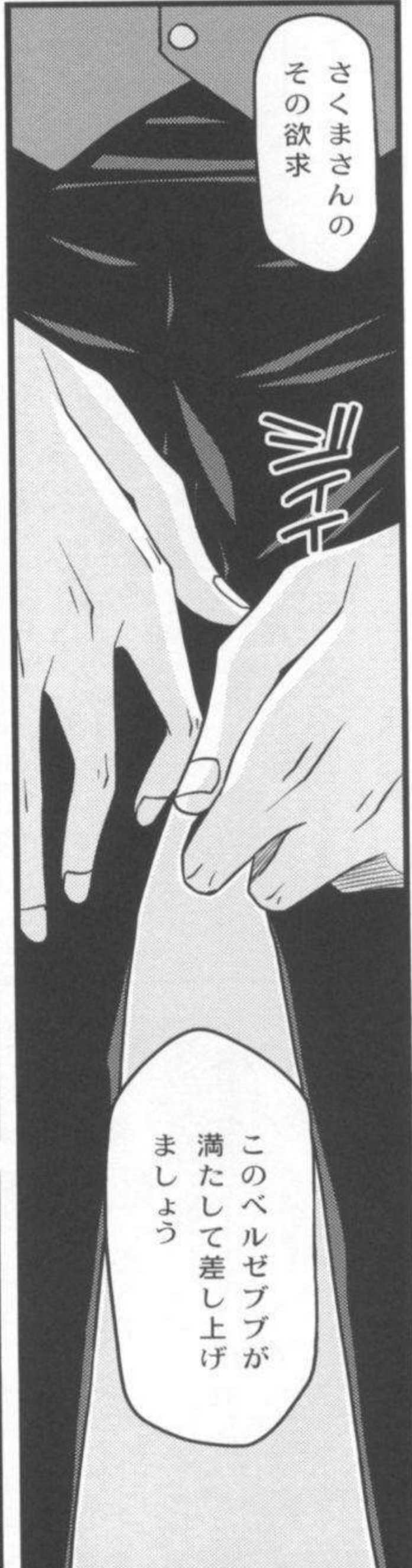
そこまで  
言われるのでしたら  
構いませんとも



…自分でこの状況を  
作り出しておいて  
よく言いますよ…

何か？

…なんでもないです



さくまさんの  
その欲求

このベルゼブブが  
満たして差し上げ  
ましょう



—ほう

ふひゃあんっ!?



な…ベルゼ…ププさんの…  
大…きくて…!?

さくまさんの先程までの  
痴態を見ていたら  
私も劣情を催して  
しまったのですよ



当然の結果  
ですね



ああ…しかし  
さくまさんの膣内…  
小さくてぐいぐい  
締め付けてきますね…

処女というのは本当  
だったのですね





や...この...格好し  
トホかしご...  
ないですかあ...



あなたの膣内は  
また更に締め付けて  
きているのですよ？



何を言いますか  
このビッチ

そんな事  
言いながら…



私の事を搾り取ろうと  
膣内が上へ下へと蠢動して  
いるのがはっきりと  
感じ取れます



それに痙攣が  
激しくなってきた…  
イクんですか？



言わないと  
伝わらないでしょう？



お...お...っ!



ん...  
あ...  
あ...  
あ...







これで何回ですか？  
貴女が達した回数は

そん…なの！

覚えて…ません  
よ…っ！

でしょうね

しかし…そろそろ  
頭の方も回らなくなってくる  
くらいはイったのでは？

もう無意識と反射で  
だらしなく腰を振るだけの  
メス豚にしか見えませんよ



その上こんな言葉にまで  
膾内が反応して…

ハッ

ハッ

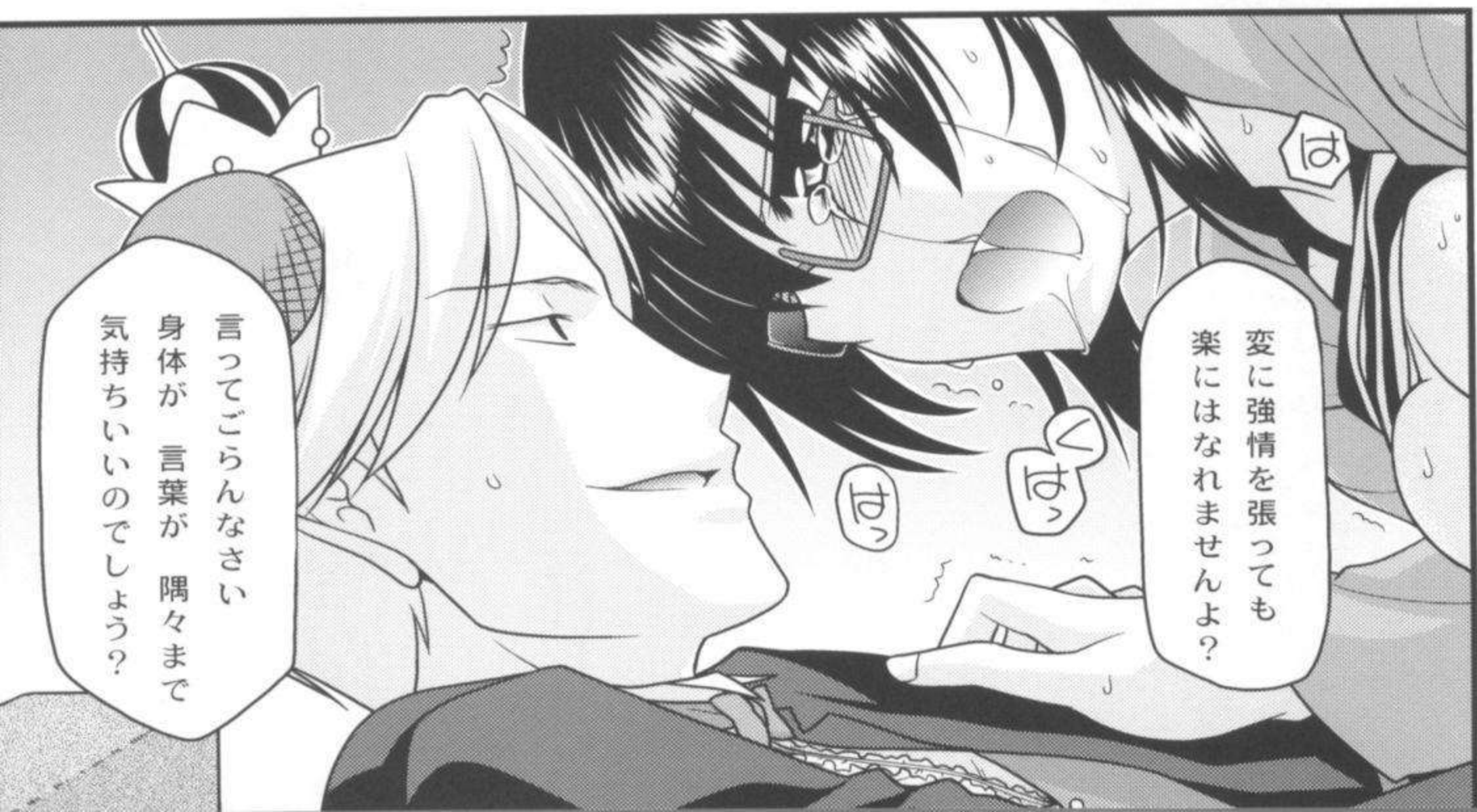
ハッ

本当 だらしのない  
体だ



今更取り繕っても  
遅いのですよ  
正直におっしゃい

ハッ  
ハッ  
ハッ



変に強情を張っても  
楽にはなれませんか？

ハッ

ハッ

ハッ

言っでごらんなさい  
身体が 言葉が 隅々まで  
気持ちいいのでしょうか？





いってきますよ……!

私、も

フン フン フン フン フン フン フン

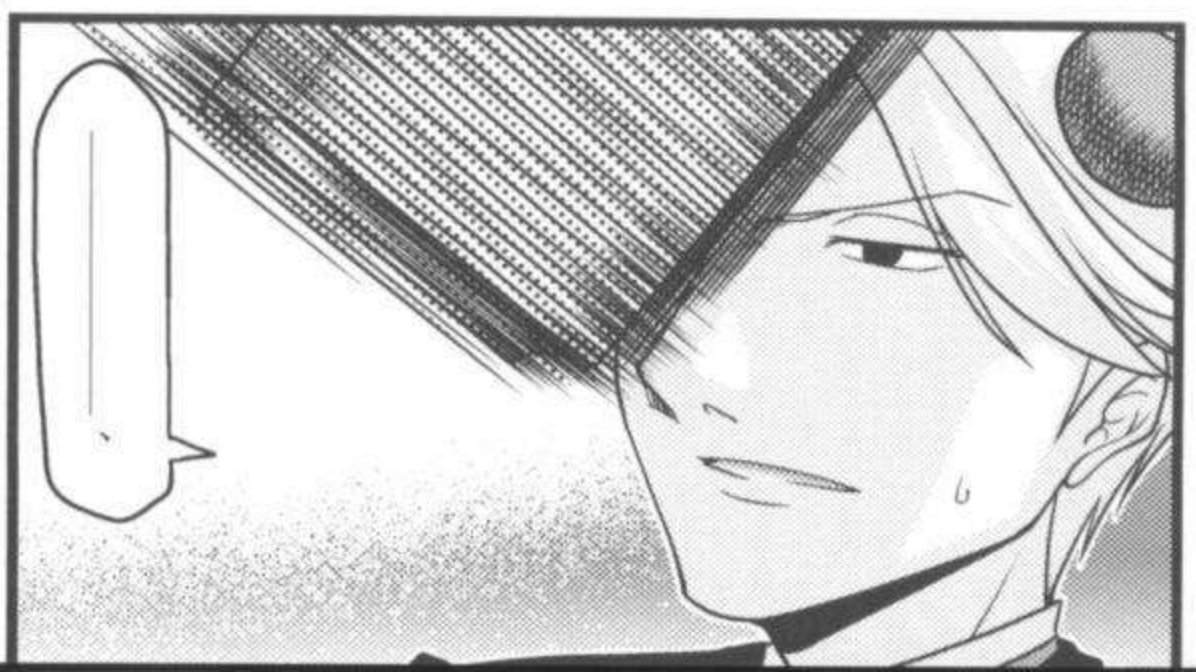
フン!!!

フン フン フン フン フン フン フン フン フン フン

ゴッ

フン!!!

フン!!!



From yondemasuyo **AZAZEL** san  
CRIMSON GROUND 2011

